

サークリサ[®] 治療連絡カード

監修: 奥田 誠 先生

東邦大学医療センター大森病院 輸血部

サークリサ[®]治療開始前の輸血前検査結果を
このカードに記載し、患者さんへお渡してください。

サノフィ株式会社



参考：日本輸血・細胞治療学会「多発性骨髄腫治療薬(抗CD38)による偽陽性反応への対処法(一部改定版)」(2017年) サークリサ®製品電子添文もあわせてご参照ください。

検査結果(不規則抗体の有無)等を参考にしてください。

■輸血の際には、サークリサ®治療開始前(初回投与前)に実施した、本カードに記載の輸血前

6ヵ月後まで持続する可能性があります。

■間接グループA試験への干渉は、サークリサ®治療中および最終投与前から目安として

の抗体の存在を確認することができません。

■この干渉は、検査に使用する赤血球試薬、供血者赤血球をゾチオスライトール(DTT)処理することで回避できますが、Kell血液型抗原はDTTにより破壊されるため、抗Kなど

の判定には影響しません。

■サークリサ®は、赤血球上に発現するCD38と結合し、間接抗グロブリン試験(間接グループA試験)において、偽陽性(汎反応性)になることがあります(ABO型およびRh型

効果を有する抗CD38モノクローナル抗体です。

■サークリサ®(一般名:イサツキシマ)は、「再発又は難治性の多発性骨髄腫」に効能又は

輸血検査の専門機関および検査部門の医療関係者の方へ

サークリサ®治療連絡カード

サークリサ®による治療を受けている/受けた

患者さん、ご家族の皆様、 介助者の方々へ

このカードには輸血の際に必要な情報が記載されています。

サークリサ®治療中および最後の投与前から目安として6ヵ月間は、このカードを常に携帯し、医師または医療スタッフに提示してください。